

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年3月20日 第212号

奥村のり子生活相談所

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



選挙が近づけば本音を隠す
アベ流手法にだまされたくないで

13日、参院選決起を兼ねた自民党大会でアベ氏は「今年のたたかいは、自民・公明連立政権対民共勢力とのたたかい、平和安全法制を廃止したら日米同盟の絆は大きく損なわれる」と語気を強めたとか。戦争法強行後「明文改憲」など改憲発言が多いアベ氏が、党大会でこれに一言も触れなかったのはなぜ？ 実は国政選挙の前は本音を隠し、選挙後一気に突き進むのがアベ流の常とう手段です。前回の参院選は、秘密保護法や集団的自衛権の行使容認にほとんど触れず、選挙後の国会で強行的に成立させました。14年末の衆院選挙では「戦争法」は後に引つ込め、経済問題を争点に消費税10%増税を「延期」と国民をごまかし、選挙が終わった昨年戦争法を一気に強行するなど手法を繰り返しました。一方、最近の世論調査でアベ氏に近い「読売」調査でさえ、任期中に改憲というアベ氏の考えを「評価する」は37%、「評価しない」が52%で改憲を堂々と云えない国民の怒りがあります。

冒頭に引用したアベ氏発言は時代遅れの暴言につき、闘いの構図は「自公対民共」ではなく「自公対5野党プラス市民・国民」。また「日米関係の絆が損なわれる」は、「米国の戦争への参戦の危険がなくなる」というのが正確ではないでしょうか。さらにごまかしの争点は街中の自民党ポスターの「経済で結果を出す」なのか？ アベノミクスは完全破たんだから、これ以上の苦しみはご免です。

(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

3月18日 市駅前/吉宗俊前宣伝 地域訪問 県

社保協

19日 地域訪問、憲法学習会

20日・21日 地域訪問

22日 国体総会

23日 地域訪問、ティボランティア

24日 無料生活相談、国会議

一般質問①
県単独の医療費助成を
「増やせ」と要求しました

3月9日一般質問しました。今回は予算審議の議会でもあるので医療・介護・障害者問題にしぼって質しました。3回にわたってそれぞれ一部ですがご報告致します。まず今週は医療問題です。

奥村—ひとり親家庭、老人医療、重度心身障害児(者)医療、乳幼児医療助成は、県独自の福祉施策であり、老人医療はかつておおむね10億円の助成事業であったのが、2016年度予算案では772万円に。福祉医療4制度の合計では、今年度より約1億2千万円もの減額

となっており、2013年度予算と比べ、3億2千万円もの減額になっています。それだけ県から県民への助成が減っているということになるわけです。

知事—市町村がそれぞれの地域の実情、政策のアピールに従って、施策の特色を出すために実施しているものと考えています。これらの県単独医療費助成については、現行制度のままでお願したいと思っております。

奥村—消費税増税分を社会保障に活用するといわれているので、県単独の福祉施策を拡充することは、財政的にはやっ

いつも緊張する本会議の一般質問ですが
がんばりました



県単独の医療費助成の
拡充が上程

2月25日から、2月議会が始まりました。

今議会では、子育て中のお母さんやお父さん達とともに訴え続けてきた、中学校卒業までの医療費の無料化が上程されました。

議員団の控え室に電話があり、「医療費は無料になるんですか？」との問い合わせや喜びの声が届いています。

23日の本会議で可決すれば、今年の夏ごろから実施される事になります。長い間、市民の皆さんと

23日の本会議で可決されれば夏ころから実施

けるのではないかと思います。この予算が年々減っています。再度、県単独の福祉医療制度を充実する方向で、ぜひ考えていただきたいと思っています。

国は公費拡充による財政基盤の強化策で、合計で24億円が市町村国保に投入され、これは被保険者1人当たり5、000円の財政改善効果ということですが、平成27年度の保険料をみるとあまり下がったようには思えません。これを活用して保険料引下げにつなげることはできないのでしょうか。

福祉保健部長—今回拡充された公費も勘案し、保険者である市町村において適切に設定されるものと考えております。

奥村—地域医療構想の策定について県地域保険医療審議会での議論はどうなっていますか。

福祉保健部長—県民が住み慣れた地域で将来にわたり必要な医療を安心して受けることができる医療提供体制を促進してまいります。

大勢の方から活用された子ども医療費無料化料化めざすポスター



ともに実現を求めてきたので、とても期待をしています。

また、今回の議会では、初めての代表質問に取り組み、子どもの貧困問題など取り上げました。全国的にも、問題となっていますが、和歌山市でも大きな課題です。

引き続き、安心して子育てのできる和歌山市を目指し頑張りたいと思います。

党市議会議員
中村あさと

